



主体的に避難する力を育む

本編

防災教育の手引き

2025(令和7)年6月

本 編

1. はじめに	3
----------------	----------

2. 「群馬県防災教育資料」の使い方	5
---------------------------	----------

3. 授業テーマの構成	7
--------------------	----------

4. 防災教育の授業資料	8
---------------------	----------

5. その他	9
---------------	----------

資 料 編

・ 指導の心得 「 防災教育必携 」	
---------------------------	--

・ 災害に関する視聴覚資料集 「 群馬の災害 」	
---------------------------------	--

1. はじめに ～群馬県内での防災教育の普及を目指して～

群馬県内での災害と言えば「令和元年東日本台風(2019年)」が記憶に新しいと思います。また、近年では地球温暖化等に伴い、雨の降り方が局地化、集中化してきており、全国各地で毎年のように災害が発生しています。群馬県においても今後これまで経験したことのない災害が発生しないとは言い切れない事態となっています。

災害はいつ、どこで起きるか分かりません。しかし、正しい知識と行動力があれば、命を守ることができます。子どもたちが自ら考え、行動し、命を守る力を身につけることは、防災教育の最も重要な目標です。また、その力は家庭や地域社会にも波及し、防災知識を広げる大きなきっかけとなります。そのためには、教員の皆様の積極的な取り組みが欠かせません。

本資料は、教員の皆様が防災教育を行いやすいよう、群馬県の災害特性に即した教材として作成しました。本資料が、子どもたちの災害から命を守る力を育むために一助となれば幸いです。



写真：群馬県(2019年10月12日撮影)

▲ 東日本台風時の利根川(県庁裏・前橋市大手町) 出水状況



資料編もご参照ご活用ください

本資料は、そのまま防災教育ができるような授業資料を掲載した「本編」として構成していますが、資料編には、これらの授業資料のもととなる防災教育の基本理念や、群馬県での災害写真を収録しています。資料編も適宜ご参照ご活用ください。

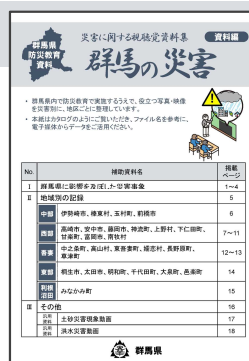
資料編 指導の心得「防災教育必携」

東日本大震災後、平成29年頃から大学の教職課程においても防災教育を含む学校安全の項目が充実してきましたが、防災教育に対する深い理解をお持ちの教員は多くないのが現状で、「防災教育としてどんな授業をしたらよいかわからない」といった状況にある教員の皆様もいらっしゃると思います。そこで、防災教育の先進事例を参考に、防災教育の基本理念を「指導の心得『防災教育必携』」にまとめました。ご一読ください。



資料編 災害に関する視聴覚資料集「群馬の災害」

視聴覚資料があると、子供たちの災害・防災への関心を高めやすいという声も伺うため、群馬県内での災害時における写真を市町村等から提供いただき、資料編としてまとめました。学校周辺の災害写真も収録できている場合もありますので、授業の際には適宜引用してご活用ください。また、本編掲載の授業資料にとらわれず、様々な防災教育の授業でもご活用いただいて構いません。今後も資料収集を重ね、資料集の拡充を図ってまいります。



1. 授業実施の負担軽減を目指した資料を作成

防災教育を進めるにあたり、教員の皆様の多忙さも理解しなければなら
ないと認識しています。

そのため、教員の皆様が防災教育にも取り組みやすくなるように群馬県
としても様々な支援をしていきたいと考えており、まずは本資料がその一
助になれば幸いです。



2. 群馬県内での洪水・土砂災害関連の資料を多数収録

授業で提示する写真資料は、子供たちに響きやすいよう、馴染みがある地元の写真を提示できるように
地域に分けて整理しました。

3. 4つのテーマを収録

本資料に掲載されている授業案は、4つのテーマで構成されており、学習を段階的に進めることができ
ようになっています。最も効果的なのは、全テーマを学習することですが、授業時間の確保が難しい場
合や、既に取り組んでいるテーマがある場合には、本資料の授業案の一部を取り入れるなど、状況に応じ
て柔軟にご活用ください。

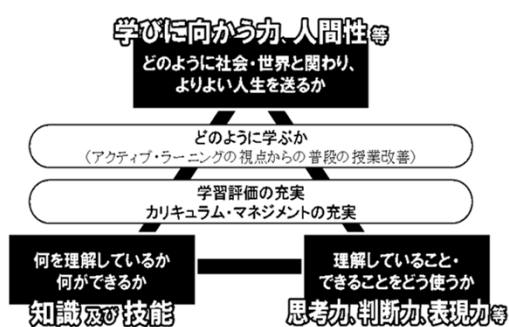
4. 地域の洪水災害や土砂災害のリスク状況を考慮

それぞれの学校において、地域により災害リスクが異なるため、特に災害種別による違いが明確な
「テーマ②」では、「洪水災害編」と「土砂災害編」に分けて作成しました。学校や子供たちの自宅・通学路
の状況を考慮して使用する教材を選択できるようにしました。

5. 「育成すべき資質・能力」の「三つの柱」を踏まえた授業案を検討

本資料掲載の授業案については、使いやすいうように手を加
えていただいて構いません。そのまま使っても、現行の教育
方針との整合を図れるよう、文部科学省・学習指導要領で示
される三つの「育成すべき資質・能力」を踏まえた授業案を作
成しました。

本資料では、「三つの柱」の該当項目の一例を、作成した学
習指導案の「指導上の留意点:評価(☆)」に記載しましたの
で、ご参考・ご活用ください。(表記例:学習指導案の **知識** **思考力** **人間性**)



6. 「アクティブ・ラーニング」に準ずる学習項目の採用

「主体的・対話的で深い学び」、いわゆる「アクティブ・ラーニング」の視点も持ちな
がら、児童たちが聞いて終わるだけの授業にならないように、様々な活動案も掲載し
ました。(表記例:学習指導案の **Point:アクティブラーニング**)



2. 「群馬県防災教育資料」の使い方

本資料は、「学習指導案」、「児童用ワークシート」、「授業用スライド資料」、「児童用副読本」の4資料で1つの授業の資料が構成されています。

学習指導案・児童用ワークシート

- ・授業は、「導入→展開→まとめ」の流れで組立
 - ・学習指導案では、「育成すべき資質・能力」の「三つの柱」、「主体的・対話的で深い学び(アクティブラーニング)」の該当箇所がわかるよう表記
- 三つの柱:例) **知識 思考力 人間性** 主体的・対話的で深い学び: **Point:アクティブラーニング**

学習指導案・児童用ワークシート例

1

学習活動

具体的な学習活動について児童の立場から記載

発問例と予想される児童の反応例 | 発問・指示(●) 予想される反応(○)

授業者からの発問と児童から予想される反応を記載

指導上の留意点

| 支援(◆) 評価(☆)

授業者がどのようなねらいでどのような指導をするのか、また、具体的な手段・準備・工夫点などを記載

大雨が降ったときの**危険**と地域にある**自然のよいところ**を知ろう

____年 ____組 ____番 名前()

問1. 洪水災害や土砂災害の危険について、()の中をうめてみましょう。

①**洪水災害**は、(大雨で(川)の水があふれたり、雨の水がたまり、まちが(水びたし)になってしまふ災害です。

②**土砂災害**は、(山)から土砂が流れてきたり、(がけ)がくずれたりして、家や道路などがこわれてしまふ災害です。

問2. 地域のよいところを書きましょう。

4

授業で使用するワークシートはテーマごとに作成

【学習指導案】高学年 テーマ①				
高学年 テーマ① 自然がもたらす恵みと災いを知る				
学習のねらい	大雨が降ったときの 危険 と、 地域にある自然のよいところ を知る ■大雨が降ったときの状況を考える ■大雨が降ったときに起こりうる「災い」を知る ■地域にある「恵み」を知る			
必要物品・資料	□ 授業用スライド資料(高学年①) □ プロジェクター・スクリーン □ ワークシート(高学年①) □ レーザーポインター (もしくは差し棒)			
学習活動	ppt	発問例と予想される児童の反応例 発問・指示(●) 予想される反応(○)	指導上の留意点 支援(◆) 評価(☆)	
学習のねらい(1分)	1			
導入 (計10分)				
1. 大雨時に起こることを想像し、学習のねらいを確認する。			◆ グループ・ディスカッションができるように机・椅子を動かしておく。	
1-① 雨が降って困った経験を想起する。	2	● 雨が降って、困ったことはありますか。 ○ 疲(ひ)に行けなかった。 ○ 傘を忘れて、びしょ濡れになった。	◆ 児童(数名程度)を指して、答えさせる。 ◆ 大雨が降っている様子が示されたイラストを提示する。	
1-② 身近な地域で大雨による災害が起きていることを知る。	3	● では、雨がたくさん降ったら、みんなの住むまちや地域ではどんなことが起きるでしょう? ○ 雨が強く、外に出られない。 ○ 川があふれる。 ○ 山から流れてきたどろ水で、道が水びたしになる。 → 模範解答を提示する。 ● 【天気図提示:台風と雨の様子】 → 説明しながら順にアニメーションを提示	◆ 「児童個人が困ったこと」という観点から、「まちで起きること」という俯瞰した視点に変えていく。 ◆ 児童(数名程度)を指して、答えさせる。 ☆ 普段の雨よりもひどくなったことを想像できる。 【思考力】 ◆ 災害当時の児童らの学年・年齢を提示して、思い起こしやすくする。	
1-③ 写真提示:地域で発生した洪水・土砂災害の紹介 いつ発生した災害か、どのような災害が発生したか	4 5-8 11	● 【写真提示:地域で発生した洪水・土砂災害の紹介】 いつ発生した災害か、どのような災害が発生したか	◆ 災害写真を提示する。 資料集参照:地域の写真への置き換えや枚数を増やすなど適宜スライドを編集してください。	
1-④ 学習のねらいを振り返り、学習していることを確認する。	12	● 今日、大雨が降ったときの危険について学習しています。		
展開 (計55分)				
2. 大雨による災害を知る。	13-14	● さっそくですが、大雨による危険について考えてみましょう。さきほど写真を見て思ったことが起こるでしょうか? ○ 【洪水災害関連】 水かさが増えるから川の近くが危険。 など ○ 【土砂災害関連】 山から泥水が流れてきたり、がけが崩れそう、山の近くも危険。 など	◆ 児童(数名程度)を指して、答えさせる。 ※ スライド3で意見が出ていれば、その振り返り程度とする。 ※ 地域特性を踏まえて、話す時間を調整する。(例:山地から離れた地域の場合、洪水災害に多くの時間を割く)	
2-① 洪水災害の危険について知る。	15-17	● 実際に大雨が降ったときに川やまちがどうなるか、見てみましょう。 → 洪水の危険を提示する。	◆ 授業時間を考慮して、氾濫(内水・外水)の違いまでは扱わない。「洪水災害」として進める。	

【学習指導案】高学年 テーマ①				
高学年 テーマ① 自然がもたらす恵みと災いを知る				
学習活動	ppt	発問例と予想される児童の反応例 発問・指示(●) 予想される反応(○)	指導上の留意点 支援(◆) 評価(☆)	
2-② 土砂災害の危険について知る。	18	● 「山やがけの近くは危ない」と言ってくれたけど、大雨が降ると山がどうなるかわからない。土砂災害の危険を提示する。	◆ 授業時間を考慮して、土砂災害の違い(土石流・がけ崩れ・地すべり)までは扱わない。「土砂災害」として進める。	
2-③ ワークシート「問1」に記入する。	20 21	● 災害についてお話ししたことの復習として、グループでワークシート「問1」に答えてみましょう。 ○ 答えを合わせよう。	◆ 【ワークシート(高学年①)]を配付 ◆ 授業時間と児童らの理解力を考慮して、容易な穴埋め問題とする。	
2-④ ワークシート「問2」に記入する。	22 23	● 大雨が降って、洪水災害や土砂災害が起これば川や山、地域で危険なことが起こることになります。危険なところには近づかないようにしましょう。	◆ グループで話し合いながら、ワークシートに記入するように促す。 ☆ ワークシートに正答を記入できている。 【知識】 ※ 授業時間と児童らの理解力を考慮して、容易な穴埋め問題とする。	
3. 地域の恵みを知る。	24	● 続いて、地域のよいところについても考えてみましょう。		
3-① ワークシート「問2」に記入する。	25	● 大雨が降って洪水災害や土砂災害が起これば川や山、地域で危険なことが起こることになります。危険なところには近づかないようにしましょう。	◆ グループで話し合いながら、ワークシートに記入するように促す。(グループ毎のシートにまとめるのもよい)	
3-② グループ・ディスカッションの結果を発表する。	26 27	● そのような「良いところ」について、グループで話し合っただけでワークシート「問2」に、できるだけ多く書いてみましょう。 ● この地域のよいところはどんなところですか? ○ おいしい食べ物がある。 ○ 水がきれい。山がきれい。 ● 大雨が降ると危ないところもありますが、この地域には良いところもいっぱいあることがわかったと思います。	◆ 「良いところ」がスムーズに挙がらない場合もあるので、新し教育等で学んだことを事前に確認して、場合によっては、児童に合わせた例を授業者から提示する。	
まとめ (計9分)				
4. ふりかえりをする。	29	● 今日の学習で学んだことをふりかえります。		
4-① ワークシート「問3」に記入する。	30	● 今日の授業で思ったことや感じたことをワークシート「問3」にまとめよう。	◆ 個人意見をワークシートに記入するように促す。 ☆ 思ったことや感じたことを表現できる。 【表現力】	
4-② 記入結果を発表する。	31	● ワークシートに書いた結果を発表してください。 ○ 地域に危ないところがたくさんあるから、これから気を付けたい。 ○ 雨がたくさん降ったときには危険があるけど、地域に良いところもたくさんある。	◆ 児童(数名程度)を指して、答えさせる。 ☆ 雨がたくさん降ったときには危険があるが、自然があることで、地域の良さが際立つことを理解ができた。 【知識】	
4-③ 本時のふりかえりをする。	32-34	● この地域に大雨が降ったときには、災害が起これば川や山、地域で危険なことが起こることになります。危険なところには近づかないようにしましょう。 ● でも、大雨が降っていないときは、地域のよいところをたくさん受け取ってほしいです。	◆ 地域の洪水・土砂ハザードマップを紹介し、関心を高める。ハザードマップは一つの図で想定を超える災害が起これば危険であることを示している。	

2

授業の時間配分の目安

3

防災教育を実施する地域に合わせて事例を紹介可能

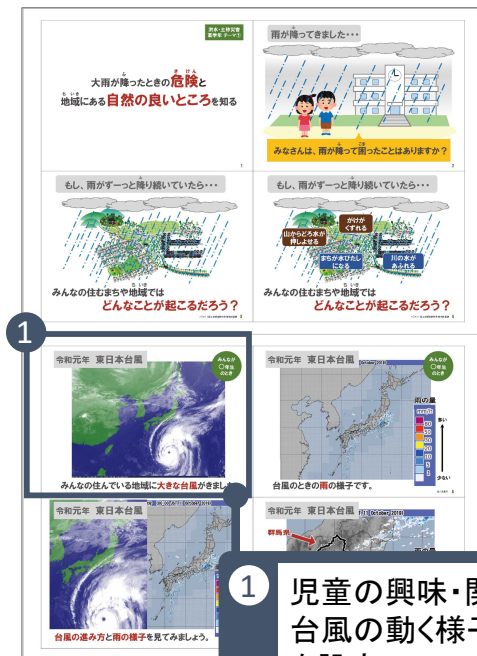
5

ふりかえりの時間は授業の時間調整としても活用可能

授業用スライド資料

- ・学習指導案に沿って作成
- ・地域の事例に合わせた写真を自由に入替可能(※写真は資料編「群馬の災害」から選択)
- ・アニメーションを使用したスライドは、事前に確認してからの使用を推奨

授業用スライド資料例



2 防災教育を実施する地域に合わせた事例の写真を自由に入替可能

写真は資料編から自由選択

資料編「群馬の災害」

No.	掲載写真に収める写真(1枚)の災害事例	掲載ページ
1	群馬県に収める写真(1枚)の災害事例	1~4
2	群馬県に収める写真(1枚)の災害事例	5
3	群馬県に収める写真(1枚)の災害事例	6
4	群馬県に収める写真(1枚)の災害事例	7~11
5	群馬県に収める写真(1枚)の災害事例	12~13
6	群馬県に収める写真(1枚)の災害事例	14
7	群馬県に収める写真(1枚)の災害事例	15



1 児童の興味・関心を高めるため、台風の動く様子のアニメーションを設定

児童用副読本

- ・イラストや写真を多く用いて作成
(使い方は、復習用・予習用など教員の皆様の取り組み方に応じて活用が可能)
- ・授業では扱わない内容についても個人で学習できるように設計
- ・授業内容とリンクしているため、児童の理解に合わせた活用が可能

児童用副読本例



1 授業の内容にプラスして児童の関心を広げる情報を掲載

2 児童自身が実体験を通して学習を深めることができるような内容を掲載

3. 授業テーマの構成

「群馬県防災教育資料」は、次の4つの授業テーマで構成され、各テーマにつき1つ授業案を収録しています。なお、授業案は、4つのテーマで段階的に進められるようになっていますが、授業時間の確保が難しい場合や、既に取り組んでいるテーマがある場合には、授業案の一部に取り入れるなど、状況に応じて柔軟にご活用ください。各テーマの詳細や方針は、以下にまとめましたので、授業をアレンジする際の参考にしてください。

テーマ① 自然がもたらす恵みと災いを知る

防災教育で「地域の災害の危険性」だけを取り上げて、災害への恐怖喚起だけを行い、備えを促すことは、持続性という観点から教育効果に限界があると考えられます。また、災害の危険性は「地域のマイナスイメージ」であるため、それだけを児童・生徒に植え付けることとなります。他の教科教育では、地域の素晴らしさを伝え、郷土愛を育むことを目指した指導がされていますが、それを阻害する要因にもなりかねません。

当たり前のことですが、自然には「恵み」と「災い」の2つの側面があります。災い(=危険)しか存在しない地域であれば、集落が形成されることはありません。このような自然の二面性を踏まえるならば、災害に備えることは、自然の恵みを享受した生活を送るために必要不可欠です。地域の危険性や避難のノウハウを学ぶだけでなく、自然には、「恵み」と「災い」の両面があることを理解し、地域を大切に作る郷土愛を育むとともに、災害から生き抜く力を身につけることが大切です。

テーマ② 災害の起こり方と対策を知る

自然災害の発生メカニズムの解説を行い、備える対象を知ることの深めていきます。現象理解に加えて、自然災害への対策の理解も合わせて行うことで、理解を効率よく促すことをねらい、テーマに設定しました。

なお、ハード対策の重要性について本テーマで扱いつつも、相手は自然であり、ときに堤防やダムなどのハード対策の想定を上回る事態も起こり得るといったことにもあえて触れ、自分で考え判断すること・自分で主体的に備えることの必要性も促すこともねらいとしています。

テーマ③ 災害から身を守る行動を知る

災害時に最も重要となる「身を守る行動」について深く考えさせ、災害時における「身を守る行動」の実行性を高めることをねらい、テーマを設定しました。様々な条件で問いかけをおこない、避難に対して主体性を高められるような内容にしました。

避難行動に特化した授業内容であるため、テーマ①②に限らず、地域の災害リスクや、災害現象を学習する活動を事前に取り組んでおくことで、子供たちの理解度も上がります。

テーマ④ 自助と共助の大切さを知る

自分の命を守るだけでなく、さらに周囲に視点を広げ、他者の命も大切であることや、困っている人がいたら助けてあげたいという気持ちを汲み、小学生の自分にできることを考えさせる学習を通して、助け合うことの大切さと社会貢献活動への基盤づくりとなるよう設定しました。

災害時に他者の命も守れることは理想ですが、自分の命を守ることが前提です。本テーマでは、助け合いや他者への配慮が主たる部分となっているため、「自分の命は自分で守る」といった学習を事前に行ったり、本テーマ授業中も自助が前提となることを確認したりしながら、取り組むことが望ましいです。

4. 防災教育の授業資料

<防災教育の授業資料>

テーマごとに以下の4資料で構成されています。

□学習指導案 □児童用ワークシート □授業用スライド資料 □児童用副読本

・児童用副読本は、一式の小冊子として整理

洪水・土砂災害

高学年

洪水・土砂災害の高学年の防災教育の授業資料をまとめました。

テーマ① 自然がもたらす恵みと災いを知る

ねらい:大雨が降ったときの危険と、地域にある自然の良いところを知る

テーマ② 災害の起こり方と対策を知る

ねらい:洪水災害・土砂災害の起こり方(種類)と対策について知る
・洪水災害編 ・土砂災害編

テーマ③ 災害から身を守る行動を知る

ねらい:大雨が降ったときの身を守る行動(避難)を知る

テーマ④ 自助と共助の大切さを知る

ねらい:わたしたちができることを考える～助けられる側から助ける側へ～

4つのテーマの授業案 を収録しています。

確保できる時間数や、授業で扱いたいテーマなど踏まえて、
4コマ全ての実施に限らず、**自由に組み合わせて** ご活用ください

5. その他

【参考】パワーポイント資料のアニメーション効果の削除方法

バージョンによって方法が異なります。

以下より検索のうえ、お持ちのパワーポイントのバージョンの操作方法をご確認ください。

Microsoft サポート「PowerPointのヘルプとラーニング」: <https://support.microsoft.com/ja-JP/powerpoint>

アニメーションの効果を変更、削除、またはオフにするQ と検索

モデル校での授業

本資料作成にあたっては、モデル校において防災教育の授業を実施していただき、ご意見をいただきました。
ご協力いただいた学校・学級は以下のとおりです。

※令和7年2月末現在

実施年度	実施校	実施学年	実施授業テーマ	実施日
令和6	高崎市立 車郷小学校	6年生	小学校高学年 テーマ①	2024年05月10日
			小学校高学年 テーマ②	2024年05月17日
			小学校高学年 テーマ③	2024年05月24日
			小学校高学年 テーマ④	2024年05月31日
	藤岡市立 鬼石小学校	4年生	小学校高学年 テーマ①	2024年10月04日
			小学校高学年 テーマ②	2024年10月08日 2024年10月21日
			小学校高学年 テーマ③	2024年10月22日
	千代田町立 西小学校	5年生①	小学校高学年 テーマ①	2024年10月07日
			小学校高学年 テーマ②	2024年10月11日
			小学校高学年 テーマ③	2024年10月15日
			小学校高学年 テーマ④	2024年10月17日
		5年生②	小学校高学年 テーマ①	2024年10月08日
			小学校高学年 テーマ②	2024年10月09日
			小学校高学年 テーマ③	2024年10月15日
			小学校高学年 テーマ④	2024年10月17日
		6年生①	小学校高学年 テーマ①	2024年11月06日
			小学校高学年 テーマ②	2024年11月07日
		6年生②	小学校高学年 テーマ①	2024年11月06日
			小学校高学年 テーマ②	2024年11月07日
	伊勢崎市立 殖蓮第二小学校	6年生①	小学校高学年 テーマ③	2024年10月17日
			小学校高学年 テーマ④	2024年10月17日
		6年生②	小学校高学年 テーマ③	2024年10月17日
			小学校高学年 テーマ④	2024年10月17日
	みなかみ町立 古馬牧小学校	4年生	小学校高学年 テーマ③	2024年12月19日
			小学校高学年 テーマ④	2024年12月19日

今後の予定

- 今後は、「小学校低学年(1～3年生)向け」や「中学校向け」の授業資料なども作成を進めていく予定です。
- 作成にあたっては、県内の学校で実際に使ってもらい、教員の皆様の声を反映します。

群馬県防災教育資料 本編

主体的に避難する力を育む 防災教育の手引き



群馬県
県土整備部 砂防課
河川課

協力) 総務部 危機管理課
群馬県教育委員会 健康体育課

本資料に関する 砂防課 砂防情報係
お問い合わせ ☎ 027-226-3633



片田敏孝氏

東京大学大学院 特任教授
群馬大学大学院 名誉教授